

年度	主な出来事
1951	・創立
1955	・日本初のアーチ式ダムを持つ上椎葉発電所運転開始
1956	・苅田発電所1号機(石炭、7.5万kW)運転開始
1957	・当社初の超高压送電線の中央幹線昇圧(22万V)運転開始 ・火力発電量が水力発電量を上回る(水火力の比重逆転) ・大村発電所1号機(石炭、6.6万kW)運転開始
1960	・周波数統一終了 ・港発電所1号機(石炭、15.6万kW)運転開始
1961	・新小倉発電所1号機(石炭、15.6万kW)運転開始
1967	・大岳発電所(地熱:1.1万kW)運転開始 ※国内初の事業用地熱発電所 ・唐津発電所1号機(石炭、15.6万kW)運転開始 ※当社初の制御用電算機を採用
1969	・大分発電所1号機(石油、25万kW)運転開始 ※当社初の重油専焼火力発電所
1973	・相浦発電所1号機(石油、37.5万kW)運転開始
1974	・川内発電所1号機(石油、50万kW)運転開始
1975	・玄海原子力発電所1号機(55.9万kW)運転開始 ・大平揚水式発電所(50万kW)運転開始 ※当社初の揚水式発電所
1977	・八丁原発電所1号機(地熱、2.3万kW)運転開始 ・豊前発電所1号機(石油、50万kW)運転開始
1980	・50万Vの中央・西九州変電所新設、佐賀幹線50万Vに昇圧 ・電源開発(株)が関門連系線(50万V)運転開始
1981	・玄海原子力発電所2号機(55.9万kW)運転開始
1982	・九州エネルギー館開館
1984	・川内原子力発電所1号機(89万kW)運転開始
1985	・川内原子力発電所2号機(89万kW)運転開始
1986	・天山揚水式発電所1号機(30万kW)運転開始 ・配電線自動制御システム運用開始
1989	・松浦発電所1号機(石炭、70万kW)運転開始
1990	・日本初の高低圧作業停電「ゼロ」達成
1991	・新大分発電所1号系列(LNG、69万kW)運転開始 ※当社初のガスコンバインドサイクル発電所
1994	・玄海原子力発電所3号機(118万kW)運転開始
1995	・山川発電所(地熱、3万kW)運転開始 ・苓北発電所1号機(石炭、70万kW)運転開始
1996	・大霧発電所(地熱、3万kW)運転開始 ・滝上発電所(地熱、2.75万kW)運転開始
1997	・玄海原子力発電所4号機(118万kW)運転開始
1998	・超伝導エネルギー貯蔵装置運用開始 ※電力設備としては日本初で世界最大規模
2001	・当社初の海外事業案件メキシコ・トゥクspan2号IPPプロジェクト開始 ・九州ふるさとの森づくり開始 ・苅田発電所新1号機(石炭、36万kW)運転開始 ※当社初の加圧流動床複合発電(PFBC)
2002	・法人お客さま専任のアカウントマネージャーの配置
2003	・甕島風力発電所(250kW)運転開始 ・野間岬ウィンドパーク発電所(3,000kW)運転開始
2004	・大村発電所廃止 ・港発電所廃止
2005	・日本最長の電力海底ケーブルによる五島連系設備(53km)運用開始
2006	・八丁原バイナリー発電所(2,000kW)運転開始 ※日本初の事業用地熱バイナリー発電所
2007	・「九州電力の思い」(ブランドメッセージ「ずっと先まで、明るくしたい。」)を制定 ・小丸川揚水式発電所4号機(30万kW)運転開始
2009	・玄海原子力発電所3号機で日本初のプルサーマル運用開始
2010	・メガソーラー大牟田発電所(3,000kW)運転開始 ※当社初のメガソーラー発電所
2013	・九州エネルギー館閉館 ・大分発電所廃止
2015	・玄海原子力発電所1号機運転終了 ・唐津発電所廃止
2016	・熊本地震により大規模停電が発生。電力各社が応援派遣 ・世界最大級の大容量蓄電システムを備えた豊前蓄電池変電所が運用開始 ・一般社団法人「九電みらい財団」設立